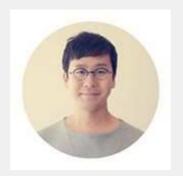
まいば しんや 西馬晋也さんのプロフィール (認定者No.7)

京阪出町柳駅より徒歩10分ほど。 出町桝形商店街の一角にあるトランスカルチャー・ シェアスペース「De まち」。 2012年のオープン以来、まちづくりやジビエ、旅、お金、 野草など、さまざまなテーマを講師と参加者が一緒に学ぶスタイルのワークショップを 毎月開催しています。 今回70's PROJECT の人間国宝さんの認定記念として、インタビ ューをさせていただいた西馬晋也さんは、この「De まち」を運営する株式会社応用芸 術研究所(代表:片木孝治)という、地域と大学生が連携してまちづくりを行う会社の 役員であり、また、福井県鯖江市の地域おこし協力隊員でもあります。 さまざまな場 所を横断し、ひととひとが出会う場をつくっていく西馬さん。 どのようにひとやまち と関わろうとしているのでしょうか。 個人的には学生時代から知っている西馬さんで すが、今回改めて深くお話を聞くことができました! 現在西馬さんはだいたい月の半 分ずつ、福井県鯖江市と京都府京都市それぞれを行き来して暮らす、2拠点居住をして います。 鯖江市では2004年より、京都精華大学で建築を教えていた片木先生が立ち上 げた「河和田アートキャンプ」という、学生×地域×アートがテーマのプロジェクトが 継続しており、西馬さんは学生時代からこの取り組みに関わって、現在も地域と学生と の橋渡し役を担われています。 2012年からは、鯖江市での取り組みの成果をさらに他 の地域でも活かそうということで、京都府与謝郡与謝野町・京都府南丹市美山町・福井 **県坂井市丸岡町でのプロジェクトも順に立ち上がり、それぞれがテーマを持って、学生** が主体となり運営されています。 西馬さんは、地域の方や学生たちと伴走して、互い の調整役になり、地域で世代交代が上手くいっていない場合でも、アートキャンプに関 わる次の代まで引き継ぎできるよう、地域を見渡してひととひとをつないでいくそうで す。 自ら運転をして毎週あちこちの地域を移動し、たくさんのひとと関わり、休む間 もなさそうな西馬さん。 横からチラッと見たグーグルのスケジュールはびっしりと色 わけされ、予定がつまっています。 そんなにも忙しいと、自分を見失うことはないの だろうか。 インタビューが終わって、じゃあまた!と小さく手を振る西馬さんの様子 が大学時代の西馬さんと一瞬ダブって、懐かしくなりました。 でも、昔とは全く違う。 忙しいし悩むけれど、未来を見据えて前に進み続ける力強い西馬さんの姿が見えました。



2017.5.15 堀家 沙里